

(株)スターランド 「スーパースター」導入店レポート

まえばし駅前天然温泉ゆ〜ゆ [群馬県前橋市]

省力化を念頭にPOSシステム刷新 自動精算機と飲食セルフオーダー端末導入



(株)ヤマニ熱工業
まえばし駅前天然温泉ゆ〜ゆ
支配人 小林浩之氏

オープン3年目に前経営者から施設継承 1からノウハウを築き魅力ある温浴施設に

JR前橋駅北口から徒歩2分の至近にある「まえばし駅前天然温泉ゆ〜ゆ」は100%天然の塩化物泉を使った温浴施設だ。「泉質がとてもいい」と利用客から評価が高く、また露天風呂やドライサウナ、岩盤浴など、多彩な温浴体験を楽しめるのが魅力。広々としたお食事処を併設し、各種定食から一品料理、おつまみ、アルコールなどメニューが充実している。

同施設を運営するのは、地元・前橋市を拠点に給排水や給湯、空調などの設備工事、建築設備設計を手がける(株)ヤマニ熱工業。2002年の施設オープン当初は別の事業者が経営していたが、オープンから3年ほどで事業から撤退し、同施設に設備を納入していたヤマニ熱工業が経営を引き継ぐこととなった。

「弊社としても温浴施設の経営ははじめてでしたが、伝手を頼りに情報を集め、1からノウハウを築いてきました」と支配人の小林浩之氏。円滑なオペレーションのノウハウだけでなく、徹底した清掃で清潔感を訴求する施設管理や、それまで「ただ温めるだけの調理」だったお食事処のメニューを刷新して本格的な食事を提供するなど、施設の魅力向上にも注力してきた。小林氏もかつては飲食店で料理人としてキャリアを築いており、食事メニューのレベルアップのため05年頃に同施設に雇われた。さらにその2年後には支配人に任命され、現在は総勢40人もの施設スタッフを束ねている。

自動精算機で受付業務の負担軽減 セルフオーダー端末では注文数が増加

同施設では25年2月から3月にかけてPOSおよび関連システムの大幅刷新を行った。それまで付き合いのあった東芝



POSシステムを刷新し、来店時に受付でICチップ付きのリストバンドを渡すオペレーションとなった



1階受付横に設置された2台の自動精算機。退店時にリストバンドをセンサーにかざし、2階お食事処の利用分も含めた一括精算を行なう



2階お食事処の各テーブルに設置された飲食セルフオーダー端末。右上にセンサーがあり、リストバンドをかざすと注文画面が表示される



「熱海、伊香保、白浜と同じ優れた泉質」とされる天然温泉は、施設建物の真下から湧き出たものだ

テック(株)からの紹介でスターランドの温浴施設向けのシステムを採用。なかでもシステム刷新の要所となったのが、1階受付横に設置された自動精算機と、2階お食事処の各テーブルに設置された飲食セルフオーダー端末だ。

以前のシステムでは、来店時に受付で番号のついたカードを手渡し、退店時にそのカードを提示して受付スタッフが対面で料金を精算。現金を扱う受付業務は少なからずスタッフの負担となっていた。2階お食事処での料金も退店時に一括精算するシステムだったが、飲食オーダーはスタッフが直接聞きに行くので、繁忙時には多くのスタッフを配置していた。

今回のシステム刷新では「省力化」を念頭に新システムが構築された。来店時には、カードのかわりにICチップ付きのリストバンドが渡され、お食事処ではセルフオーダー端末にリストバンドを読み取らせてから飲食メニューをオーダー、退店時の自動精算機による精算もリスト

バンドで行なわれる。これにより受付スタッフの作業負担は大幅に軽減し、繁忙時以外は1人で受付対応が可能となった。

お食事処に関しては、セルフオーダー端末を導入したことで注文数が増え、それに対応するスタッフが必要になったため、まだ顕著な省力化効果は出ていないが、今後は新システムに適したオペレーションの効率化を図っていきたいとする。

「システム刷新時にはスターランドさんのスタッフが3日間常駐してサポートし、その後も細かな注文や問い合わせに24時間対応していただいているので助かります」と小林氏。今後はさらなる集客増に向けて、SNSの活用など、各種施策を意欲的に展開していきたいと語る。

「スーパースター」シリーズとは

POSシステム「スーパースター」シリーズは、(株)スターランドが開発・販売。カラオケボックスのほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。